

主要農作物等奨励品種表
特 性

令和5年度

茨城県

目 次

水稻奨励品種特性表	2
陸稻奨励品種特性表	4
麦類奨励品種特性表	5
大豆奨励品種特性表	7
そば奨励品種特性表	9
ベニバナインゲン奨励品種特性表	10
(参考) 落花生品種特性表	11
(参考) 甘藷品種特性表	12
種子更新について	13
主要農作物(稲・麦・大豆)の作付生産状況	14
令和5年産 産地品種銘柄一覧表	15

利用にあたって

1 本県においては、普及すべき主要農作物等の優良な品種について、次の内容で奨励品種、準奨励品種、認定品種に区分しています。

奨励品種 本書では「奨」と表記

実需者等から需要が見込まれる品種であって、かつ、収量、病害虫抵抗性、品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し、既存の奨励品種と比較して明らかに優れていると認められる品種で県下全域を対象に普及奨励しようとするもの。

準奨励品種 本書では「準」と表記

実需者等から需要が見込まれる品種であって、かつ、収量、病害虫抵抗性、品質その他の栽培上の重要な特性又は生産物の利用上の重要な特性のいずれかについて、既存の奨励品種と比較して明らかに優れていると認められる品種で、県が特定の地域に限って普及奨励しようとするもの。

認定品種 本書では「認」と表記

実需者等から需要が見込まれる品種であって、かつ、特定用途又は特定地域での栽培要件にあったもの。

2 数値については、茨城県農業総合センター農業研究所で実施している奨励品種決定調査の結果(5カ年の平均値)です。よって、栽培上の特性、収量等については、一般農家の平均値でないこと及び土壌条件、気象条件等による変動があること等について注意してください。

3 落花生及び甘藷は平成30年をもって奨励品種を指定する農作物から除外されましたが、引き続き、参考資料として本表に掲載しております。

4 品種特性を生かし、品質向上と安定生産を図るため、本書をご活用ください。

水稲奨励品種特性表

〈作物研究室(水戸市)〉

種別	区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	早晚性	草型	移植期(月日)	出穂期(月日)	成熟期(月日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/㎡)	玄米干粒重(g)	玄米重(kg/10a)
種認	一	一番星	ふさおとめ×愛知101号	平 25	早生の早	偏穂数	5.07	7.19	8.22	73	18.9	391	23.9	508
種準	あ	きたこまち	コシヒカリ×奥羽292号	平 5	早生の早	偏穂数		7.20	8.24	77	18.3	366	22.8	506
種奨	ふ	くまる SL	ふくまる×一番星	令 2	早生の晩	中間		7.21	8.24	72	18.9	374	25.9	572
種奨	チ	ヨニシキ	愛知26号(初星)×トヨニシキ	昭 60	早生の晩	中間		7.24	8.28	74	19.7	378	23.3	536
種認	ミ	ルキークイーン	コシヒカリのMNU処理突然変異	平 12	中生	中間		7.29	9.05	87	20.7	377	21.5	602
種奨	コ	シヒカリ	農林22号×農林1号	昭 34	中生	中間		7.29	9.04	85	20.4	368	22.6	608
種奨	ゆ	めひたち	チヨニシキ×北陸122号(キヌヒカリ)	平 9	中生	中間		7.29	9.06	73	19.9	352	22.4	576
種準	に	じのきらめき	なつほのか×北陸223号	令 3	中生	中間		7.30	9.09	64	20.8	372	24.8	622
種奨	ひ	たち錦	岐系89号×月の光	平 13	晩生の早	偏穂重		8.05	9.18	79	21.0	314	25.4	554
種認	あ	さひの夢	愛知70号(あいちのかおり)×F ₁ (愛知56号(月の光)×愛知65号)	令 元	晩生	偏穂重		8.09	9.19	69	20.8	324	22.7	559
種奨	マ	ンゲツモチ	F ₂ 249×農林糯45号	昭 38	中生の晩	穂重		8.01	9.09	82	23.2	307	22.4	573

〈作物研究室(水戸市)〉

種別	区分	品種名	芒		成熟期のふ先色	腹白の多少	心白の多少	玄米品質	食味	耐倒伏性	耐冷性	耐病性				栽培適地	特記事項
			多少	長短								葉いもち	穂いもち	紋枯病	縞葉枯病		
種認	一	一番星	稀	短	黄白	無〜微	微	上の中	良	強	強	中	中	中	強	県南・鹿行早場米地域	大粒。高温耐性あり。早期収穫に適する。イネ縞葉枯病に抵抗性を有する。
種準	あ	きたこまち	稀	短	黄白	微	微	上の中	良	やや強	やや強	中	中	中	弱	県南早場米地域	早期収穫に適する。
種奨	ふ	くまる SL	稀	短	黄白	微	微	上の中	良〜極良	やや強	極強	中	中	中	強	県内全域	イネ縞葉枯病抵抗性を有する「ふくまる」の同質遺伝子系統。大粒。高温耐性あり。
種奨	チ	ヨニシキ	少	短	黄白	微〜少	微	上の中	やや良	強	やや強	強	強	中	弱	県内全域	強稈・多収であるが、心白、腹白粒がやややすい。
種認	ミ	ルキークイーン	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	弱	極強	弱	中	中	弱	県内全域	低アミロースのため、炊飯米は粘りが強い。
種奨	コ	シヒカリ	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	弱	極強	弱	中	中	弱	県内全域	倒伏しやすい、いもち病に弱い。
種奨	ゆ	めひたち	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	強	中	やや弱	中	中	弱	県内全域	強稈。いもち病にやや弱い。
種準	に	じのきらめき	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	強	弱	中	やや強	中	強	県内全域	イネ縞葉枯病抵抗性を有し、大粒、高温耐性あり。障害型耐冷性は弱い。イネ白葉枯病に弱いため、常発地では防除を行う。
種奨	ひ	たち錦	稀	短	黄白	少	多	上の中	—	強	—	やや強	強	中	強	県内全域(契約栽培)	酒造好適米。イネ縞葉枯病に抵抗性を有する。
種認	あ	さひの夢	極少	短	黄白	微	無〜微	上の中	やや良〜良	強	弱	中	強	中	強	県内全域	耐倒伏性に優れる。イネ縞葉枯病抵抗性を有する。イネ白葉枯病に弱いため、常発地では防除を行う。
種奨	マ	ンゲツモチ	少	短	黄褐	—	—	上の中	良	やや強	—	やや強	強	中	弱	県内全域	やや分けづにくい。

(注)1 数値は下記条件における試験結果による。

(1)試験年次:平成30年〜令和4年

(2)試験圃場:茨城県農業総合センター農業研究所(水戸市上国井町 表層腐植質多湿黒ボク土)

(3)施肥量(10a当たり) 基肥:窒素6kg、リン酸6kg、カリ6kg、追肥:窒素3kg、カリ3kg

(4)栽植密度:30cm×18cm(18.5株/㎡)

(5)移植法:稚苗機械植え

2 いずれの品種も脱粒性は難、玄米の形状は中。

3 出穂期:全茎の40〜50%が出穂した日、成熟期:穂首近くに緑色を残した粒の割合が穂全体の10%になった日

水稻奨励品種特性表

〈水田利用研究室(龍ヶ崎市)〉

奨励 種別	区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種 採用年度	早晩性	草型	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	玄米千粒重 (g)	玄米重 (kg/10a)
奨 認	一 番 星	ふさおとめ×愛知101号	平 25	早生の早	偏穂数	4.27	7.12	8.17	77	19.2	507	22.5	608	
奨 準	あきたこまち	コシヒカリ×奥羽292号	平 5	早生の早	偏穂数		7.12	8.19	81	17.5	499	20.8	609	
奨 奨	ふくまる SL	ふくまる×一番星	令 2	早生の晩	中間	4.26	7.15	8.22	79	18.7	453	23.5	637	
奨 奨	チヨニシキ	愛知26号(初星)×トヨニシキ	昭 60	早生の晩	中間	4.27	7.17	8.25	78	19.1	487	22.2	628	
奨 奨	コシヒカリ	農林22号×農林1号	昭 34	中生	中間	4.26	7.23	9.1	92	19.3	469	20.4	560	
奨 準	にじのきらめき	なつほのか×北陸223号	令 3	中生	中間		7.24	9.4	70	20.3	443	22.6	636	
奨 奨	ゆめひたち	チヨニシキ×北陸122号(キヌヒカリ)	平 9	中生	中間		7.26	9.3	79	19.4	443	20.8	611	
奨 認	あさひの夢	愛知70号(あいちのかおり) ×F ₁ (愛知56号(月の光)×愛知65号)	令 元	晩生	偏穂重		8.2	9.15	74	21.3	398	22.1	577	
奨 奨	夢あおば	上321×奥羽331号(ふくひびき)	令 2	早生	穂重型	5.22	8.3	9.22	91	21.2	346	24.7	760	
奨 奨	月の光	あ系103B(黄金晴) ×愛知37号(青い空)×北陸103号	令 2	晩生	偏穂重型	5.23	8.16	10.2	87	21.5	388	22.4	661	

〈水田利用研究室(龍ヶ崎市)〉

奨励 種別	区分	品種名	芒		成熟期の ふ先色	腹白の多少	心白の多少	玄米品質	食味	耐倒伏性	耐冷性	耐病性				栽培適地	特記事項
			多少	長短								葉いもち	穂いもち	紋枯病	縞葉枯病		
奨 認	一 番 星		稀	短	黄白	無~微	微	上の中	良	強	強	中	中	中	強	県南・鹿行 早場米地域	大粒。高温耐性あり。早期収穫に適する。イネ縞葉枯病に抵抗性を有する。
奨 準	あきたこまち		稀	短	黄白	微	微	上の中	良	やや強	やや強	中	中	中	弱	県南早場米地域	早期収穫に適する。
奨 奨	ふくまる SL		稀	短	黄白	微	微	上の中	良~極良	やや強	極強	中	中	中	強	県内全域	イネ縞葉枯病抵抗性を有する「ふくまる」の同質遺伝子系統。大粒。高温耐性あり。
奨 奨	チヨニシキ		少	短	黄白	微~少	微	上の中	やや良	強	やや強	強	強	中	弱	県内全域	強稈・多収であるが、心白、腹白粒がやややすい。
奨 奨	コシヒカリ		稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	弱	極強	弱	中	中	弱	県内全域	倒伏しやすい、いもち病に弱い。
奨 準	にじのきらめき		稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	強	弱	中	やや強	中	強	県内全域	イネ縞葉枯病抵抗性を有する、大粒、高温耐性あり。障害型耐冷性は弱い。イネ白葉枯病に弱いため、常発地では防除を行う。
奨 奨	ゆめひたち		稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	強	中	やや弱	中	中	—	県内全域	強稈。いもち病にやや弱い。
奨 認	あさひの夢		極少	短	黄白	微	無~微	上の中	やや良~良	強	弱	中	強	中	強	県内全域	耐倒伏性に優れる。イネ縞葉枯病抵抗性を有する。イネ白葉枯病に弱いため、常発地では防除を行う。
奨 奨	夢あおば		少	短	黄白・黄	多	多	主食用米より悪<識別性有	—	極強	やや弱	不明	不明	不明	強	県内全域	飼料用。イネ縞葉枯病抵抗性を有する。耐冷性がやや弱いいため、極端な早植えは避ける。
奨 奨	月の光		稀	短	黄白・黄	少	少	主食用米と同程度	—	強	不明	強	強	不明	強	県内全域	飼料用。イネ縞葉枯病抵抗性を有する。

(注)1 数値は下記条件における試験結果による。

(1) 試験年次:平成30年~令和4年、「一番星」、「あきたこまち」、「チヨニシキ」は平成29年~令和4年(令和2年を除く)、「夢あおば」は平成27年~令和元年、「月の光」は平成28、29、令和元年

(2) 試験圃場:茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室(龍ヶ崎市大徳町 中粗粒灰色低地土)

(3) 施肥量(10a当たり) 基肥:窒素6kg、リン酸6kg、カリ6kg、追肥:窒素3kg、カリ3kg
「夢あおば」および「月の光」 基肥:窒素9kg、リン酸9kg、カリ9kg、追肥:窒素5kg、カリ5kg
稲わらすき込み

(4) 栽植密度:30cm×18cm(18.5株/m²)、「夢あおば」および「月の光」は30cm×22cm(15.2株/m²)

(5) 移植法:稚苗手植え、「夢あおば」および「月の光」は機械移植

2 いずれの品種も脱粒性は難。玄米の形状は中。ただし、「夢あおば」の形状は大。

3 出穂期:全茎の40~50%が出穂した日成熟期:穂首近くに緑色を残した粒の割合が穂全体の10%になった日